

奈良県宇陀市におけるグラフィックレコーディングを活用した ワークショップの開催支援

日本工営都市空間株式会社 ○ 金光 香保子

1. はじめに

宇陀市では、市内4地区において地区ごとのまちづくり基本構想を策定し、平成29年に奈良県と「まちづくりに関する基本協定」を締結した。

本業務の対象エリアは、「榛原駅周辺まちづくり基本構想」の中で健康増進エリアとして位置づけられている公有地である。

本業務では、「榛原駅周辺まちづくり基本構想」に加え、「グラフィックレコーディング」(会話を聞きつつ即興で絵と文字を使い、視覚的に記録する手法。以下、「グラレコ」という。)を活用した市民ワークショップによる市民意見を踏まえ、榛原健康増進エリアの基本構想を検討した。

2. ワークショップの概要

ワークショップは、表-1のスケジュールで全3回実施し、表-2の流れで実施した。参加者は、対象エリア付近の住民や公募メンバー等の全23名であった。

表-1 実施スケジュール

| 日程 | ワークショップのテーマ |
|-------------------|---|
| 2022/10/16 (日) | 20年後のあなたの理想の暮らし方・過ごし方 |
| 2022/11/26 (土) | 理想の暮らし方・過ごし方を実現するために、榛原健康増進エリアに必要な機能 |
| 2023/1/21 (土) | 理想の暮らし方・過ごし方を実現するために、榛原健康増進エリアに必要な施設、活動 |

表-2 ワークショップの流れ

| | |
|--------|---------------------------------------|
| はじめに | 第1回：市より対象エリアについて説明 第2回、第3回：前回の振り返り |
| 進め方の説明 | 当日のワークショップの進め方及び参考資料について説明 |
| 意見交換 | 4グループに分かれ、模造紙に付箋紙を貼り、意見交換を実施 |
| 発表 | グループ代表者による意見交換結果の発表 |
| 講評 | 近畿大学 久教授による講評 |

3. グラフィックレコーディング

市との協議により、グラレコの活用が第1回ワークショップの直前に決まったため、第1回ワークショップにはグラレコの準備が整わず、第1回の発表は意見交換シートのみにより実施した。第1回の発表、講評については、ワークショップ後に作成したグラレコを参加者に確認してもらった(図-1、図-2)。

第2回、第3回の発表、講評時には、iPad上で作成中のグラレコをスクリーンに投影し、内容が齟齬なく整理されていることを参加者にリアルタイムで確認してもらった(写真-1)。

また、第3回ワークショップでは、参加者の意見をより具体的に捉えるため、意見交換中に、グラレコ作成者が各グループのテーブルを回り、意見の詳細を聞きながら、意見を可視化した。



図-1 Aグループ発表グラレコ(第1回ワークショップ)

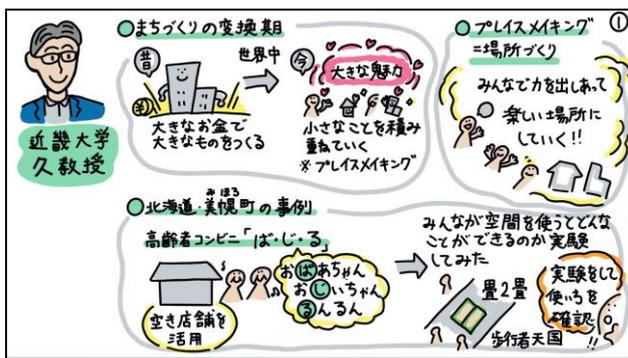


図-2 講評グラレコの抜粋(第1回ワークショップ)



写真-1 講評時のグラレコ投影の様子

4. オープンハウス (展示型報告会)

各回のワークショップ後に、宇陀市役所1階ふるさとテラスにて、オープンハウスを実施した(写真-2)。

資料の内容としては、ワークショップの概要(図-3)に加え、第1回については意見交換結果シート(図-4)、第2回、第3回については、発表グラレコ(図-5)と講評グラレコ(図-6)を展示した。

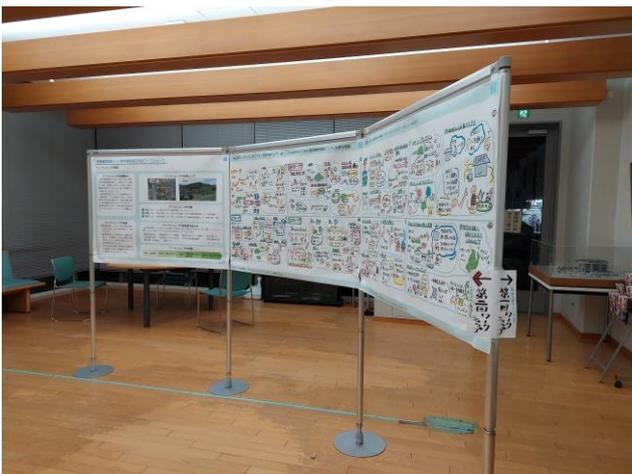


写真-2 オープンハウスの様子(第2回ワークショップ)



図-3 オープンハウス資料① 概要



図-4 オープンハウス資料② 意見交換結果シート
(第1回ワークショップ)



図-5 オープンハウス資料② 発表グラレコ
(第2回ワークショップ)



図-6 オープンハウス資料③ 講評グラレコ
(第2回ワークショップ)

参考文献

- 1) 榛原駅周辺地区まちづくり基本構想(宇陀市)